

第五十四回全国老人クラブ大会 宣言

わが国は、今年、すべての団塊の世代が七十五歳以上になるなかで、現役世代の減少が著しく、社会・経済にとって大きな課題となっています。

このような中、若年世代から高齢世代までの全ての人が、それぞれの状況に応じて「支える側」にも「支えられる側」にもなれる社会が目指されています。

戦後から現在につながる社会の礎を築き、より良い社会の構築に取り組んできた私たちは、これからも生きがいをもって、自らが培ってきた経験を、老人クラブ活動を通じて社会全体の希望につなげていきます。

私たちは、地域で生活する私たち自身が幸せであるとともに、地域を豊かにする活動を通じて、誰もが住み慣れた地域で生きがいを持って暮らし、ともに支え合う地域共生社会の実現に取り組みます。

万葉集に多く詠まれる筑波山と、太古から豊かな恵みをもたらしてきた霞ヶ浦に見守られた自然と文化が息づく、ここ茨城県に集う全国の老人クラブ関係者は「のぼそう！健康寿命、担おう！地域づくりを」のメインテーマのもとに、次に掲げる取り組みを進めていくことを宣言します。

- 一、健康長寿をめざす「健康活動」の推進
- 一、暮らしを見守る「支え合い活動」の展開
- 一、高齢期を豊かにする「生きがい活動」の充実
- 一、あらゆる世代と連携した「地域貢献活動」の推進
- 一、すべての人々の尊厳が守られる「社会保障制度」の確立

令和七年十一月六日

第五十四回全国老人クラブ大会